

短期：2週間程度の個別の指導計画

一人一人の子どもの様子をよく見て、子ども理解を図りながら計画し実践する

○年度 ○○園 ○歳児 ○○組 月 日()～ 月 日() 担任 ○○ ○○ 所属長印

クラス全体で 配慮すること	季節・行事などから(環境構成など)	行事等必要に応じて項目を決定する もしくは、なしでもよい		行事
名前(月齢)	A児 ○歳○か月	B児 ○歳○か月	C児 ○歳○か月	
先月(週)の 子どもの姿	.		.	
ねらい (●養護 ○教育) 内容(・)	<p>●養護(「生命の保持」や「情緒の安定」に関わるもの)</p> <p>○教育(遊びや生活)</p> <p>※子どもの姿から育ちつつある部分をふまえて「ねらい」を立てる その際、指針・要領の「3つの視点(0歳児)」「5領域(1・2歳児)」を参考にする</p> <p>・内容</p> <p>※ねらいを達成するために、子どもがどのような経験(遊び・活動・生活等)をするとよいのかを書く</p>	<p>●</p> <p>.</p> <p>○</p> <p>.</p> <p>◎指針・要領(第2章)を活用する</p> <p>◎長期の指導計画の育ちを参考にする</p> <p>◎途中でねらいが変われば、赤で加筆修正する</p>	<p>●</p> <p>.</p> <p>○</p> <p>.</p>	
環境構成(★) 保育者の援助(◆)	<p>★環境構成</p> <p>※ねらいを達成するために、どのような環境構成をするとよいのかを書く</p> <p>◆援助</p> <p>※ねらいを達成するために、どのような援助をするとよいのかを書く</p>	<p>★</p> <p>★</p> <p>◆</p> <p>◆</p>	<p>この様式には、最低限の項目を表記しています。保育室や園庭の環境図等、保育を実践していく上で必要な項目があれば、裏面や別紙を活用する等、各園やクラスの実態に応じて工夫して計画を立てるようにしてください。</p>	
家庭との連携	家庭との連携など、必要に応じて使用する			
反省・評価	養護		前半	
	0歳児	1歳以上児		
	健やかに伸び伸びと育つ	健康		
	身近な人と気持ちが通じ合う	人間関係		
教育	後半			
身近なものに関わり感性が育つ	言葉			
表現	表現			
<p>1. 2週間程度の時点で、前半の欄に下記の視点①②を参考に評価し、記録する</p> <p>2. 評価を基に、ねらい・内容・環境構成・援助等に変更があれば、赤等で加筆・修正し、後半の教育・保育を実践する</p> <p>3. 最終日に、後半の欄に、下記の視点①②を参考に評価し、記録する</p>				
<p>【反省・評価の視点】</p> <p>① <u>子どもの育ちや発達についての振り返り</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもの育ちや発達について、保育者が気付いたこと等(エピソードと共に記録するとよい) 子どもの発達や特性が分かるように書く 自分が関わったときの子どもの反応 <p>② <u>保育者(指導計画)の振り返り</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ねらいと内容が適切であったか 環境構成は適切であったか(「指導計画・園内研修の手引き(P27)」で示している環境構成の視点を参考に) 保育者の援助は適切であったか(「指導計画・園内研修の手引き(P29)」で示している援助の視点を参考に) 				

※「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」との関連を考慮し、適切に具体化して設定しましょう。